

受入先	南九州市商工会
役職	
隊員氏名	二宮 愛
着任日	令和 7 年 5 月 1 日

活動月	令和 7 年 6 月（着任 2 カ月目）
主な活動	視察、研修への参加、空き店舗調査

1. 桐生市への視察

移住定住とあわせて、商店街の活用と地域の方の憩いの場を作っているということで、桐生市の「むすびすむ桐生」が実施をしているイベントに視察に行ってきました。

当日は、午前中に桐生市の商店街、リノベーションした店舗の見学、移住起業家の方のお話を聞かせていただきながら街歩きをし、午後には空き家のリノベーションを体験しました。

イベント化することで、桐生市に興味のある人・リノベーションに興味のある人・移住を考えている人・なんだか楽しそうなイベントと思って参加される等、様々な背景の方が気軽に見に来られるように企画されていました。

お昼に皆さんで、桐生おすすめのごはんを食べたり、お店の中を見せていただいて買い物をしたりと、終始ワクワクする企画で、参加者同士の交流もとることができました。

リノベーション体験では、大工さん達が 3 日かけてやる仕事を大人数で実施することで、3 時間という短い時間で終わらせることが出来ていたり、学びたい人・手伝って欲しい人の価値交換が良い循環でまわっていました。

普段大工さんは、あまり人に見られるお仕事ではないそうなのですが、このようなワークショップ形式にすることで、たくさんの人に直接仕事を見て知ってもらい、参加者からのフィードバックがあり、とてもやりごたえのある仕事になっているとおっしゃっていました。

市と不動産と地域コーディネーターという地域の核となる人たちが合わさり成り立っている団体で、うまく空いている店舗を活用していくという仕組みが出来上がっていました。

地域の HUB となっているカフェでは、一人一人の得意がワークショップ形式で掲載をしており、習い事だと、お休みしても月謝支払いが生じるが、ワークショップ形式だと色々なことを気軽に体験できるようになっていて良いとのお話がありました。

地域の方たちのゆるやかな繋がりや挑戦が、地域の魅力となり、人を集める原動力になっていると感じる場所でした。



2. 研修への参加

JICA で実施の協力隊研修と役所で実施をしている協力隊研修、南九州市実施の協力隊研修に参加しました。

横の繋がりが広がることで、同じ悩みの相談や、情報収集ができるので、このような場はとても有難く思います。また、宿泊込みの合宿が 2 回あったのですが、長い時間、話をする事ができたので、普段どのような活動をしているのか、この人がどういう分野で活躍しているのかなど様々な話を聞くことができ、とても良い時間となりました。

実際に同じようなミッションの活動をしている隊員にも、繋いでいただいたりして、どのようにして活動をしているか、この課題に対してどう動いているか、ここはこんな風にしたらいいのではないかなどアイデアを膨らます対話をする事ができました。



3. 空き店舗調査

6 月から空き店舗調査票を作成し、商店街をまわって、空き店舗になっている場所、貸し出す意思はあるか、またそうでない場合は何が課題になっているかなどを聞いてまわりました。

そもそも人がいないため、聞き込みをする人がいないことがとても難しい点なのですが、近隣の店舗の方や、紹介していただいた人を辿って、持ち主さんを特定したり、地域の方々にとっても助けていただいています。

まわりながら話を聞く中で、ここの地域の方の商売の価値観や地域の課題等、段々と繋がって見えてくる部分も多く、日々学びになることが多く有難い情報でした。